

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。

短期認定留学

本学の指定する旅行会社の主催・運営による短期認定留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、短期認定留学により修得した単位を、一定の基準に基づいて本学で修得すべき授業科目の単位として認定することができます。プログラムへの参加を希望する人は、次の手続きを行ってください。なお、短期認定留学の申込にあたっては、プログラムに参加する学期は、在学していることが必要です。

1. 短期認定留学プログラム説明会への出席

詳細はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

夏季プログラム：2024年4月17日（水） / 春季プログラム：2024年10月9日（水）（予定）

2. 短期認定留学研修先の決定

「2024年度短期認定留学プログラム一覧」から研修先を選択してください。各プログラムに関する質問はエスティーエートラベルが応じます。また、各プログラムのパンフレットは、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にも掲載します。

※実施プログラムの開始日は、各学期の定期試験期間終了後に設定していますが、参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じて、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、各自で十分に留意してください。

3. 研修の申込

■国際交流センターに「短期認定留学参加申込書」、「誓約書」を以下の期日までに提出してください。

夏季プログラム：2024年6月7日（金）15：30 / 春季プログラム：2024年11月29日（金）15：30

「短期認定留学参加申込書」「誓約書」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期留学参加申込書類 > 短期認定留学からダウンロードしてください。

■プログラムの申込については、1.の短期認定留学プログラム説明会にて説明します。

4. 危機管理セミナーに出席

詳細は、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] および [あなたへのお知らせ] にてお知らせします。

以下の日程で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

夏季：2024年7月 3日（水）または7月 5日（金）（予定）

春季：2025年1月 8日（水）または1月10日（金）（予定）

5. 海外旅行保険等に加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学参加者は全員、本学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。

Web申込方法や金額・支払い方法等は危機管理セミナーで案内します。手続き完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

6. 短期認定留学の単位認定申請手続き

「短期認定留学単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表、「短期認定留学参加者アンケート」とともに以下の期日までに国際交流センターに提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。

夏季プログラム：2024年10月21日（月）15：30 / 春季プログラム：2025年4月21日（月）15：30

「短期認定留学単位認定申請書」「短期認定留学参加者アンケート」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期認定留学単位認定申請書類からダウンロードしてください。



2024年度短期認定留学プログラム一覧

以下は2024年2月現在の情報のため、最新のプログラム日程や費用は説明会で確認してください。

* プログラムにより認定される単位数が異なります。

* プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。変更が生じた場合は、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

夏 季

研修先大学 (国・地域名)	シトラスカレッジ (アメリカ) (運営: FLS INTERNATIONAL)
研修都市	ロサンゼルス近郊 (グレンドール)
研修期間 (予定)	2024/8/4~2024/8/25
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	700,000~770,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2024/8/18~2024/9/14
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	500,000~550,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / マンツーマン: 1名、グループ: 4~10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	CIEオックスフォード (英国)
研修都市	オックスフォード
研修期間 (予定)	2024/8/17~2024/9/1 2024/8/31~2024/9/15
認定単位数	2単位
費用 (予定) (日程により燃油サーチャージ取扱異なる)	638,000円~688,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大12名
宿泊形態	大学寮 (オックスフォード大学 St Hilda's College)

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
研修期間 (予定)	2024/8/24~2024/9/15
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	638,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
研修期間 (予定)	2024/8/17~2024/9/15
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	698,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ ※コースにより中級以上 / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営: CCEL)
研修都市	クライストチャーチ
研修期間 (予定)	2024/8/24~2024/9/15
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを含む)	598,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	CLICインターナショナルハウス (スペイン)
研修都市	セビリア
研修期間 (予定)	2024/8/31~2024/9/22
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	678,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大10名
宿泊形態	レジデンス

春 季

研修先大学 (国・地域名)	シトラスカレッジ (アメリカ) (運営: FLS INTERNATIONAL)
研修都市	ロサンゼルス近郊 (グレンドール)
研修期間 (予定)	2025/2/9~2025/3/2
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	700,000~750,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2025/2/9~2025/3/8 2025/2/16~2025/3/14
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	500,000~550,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / マンツーマン: 1名、グループ: 4~10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	イーストサセックスカレッジ (英国)
研修都市	ルイス
研修期間 (予定)	2025/2/16~2025/3/9
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	548,000円
クラスレベル / クラス人数	初級 (A2) 以上 / 最大19名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
研修期間 (予定)	2025/2/16~2025/3/16
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	688,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ ※コースにより中級以上 / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営: CCEL)
研修都市	クライストチャーチ
研修期間 (予定)	2025/2/15~2025/3/9
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを含む)	698,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	F+Uランゲージアカデミーハイデルベルク (ドイツ)
研修都市	ハイデルベルク
研修期間 (予定)	2025/3/2~2025/3/23
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	658,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	レジデンス



短期認定留学体験記

英 国

LSI ポーツマス

2023年度 夏季プログラム参加

英語学科 M. Y.

私が LSI ポーツマスへの短期留学を決めた主な理由は、実際自分がどれだけ英語を話せるのか知りたい、異文化体験がしたい、日本以外の国の人と生活してみたい、などでした。

私は 交換留学応募に必要な IELTS 6.0 取得という目標も掲げていたため、LSI ポーツマスでは、IELTS コース(週5日間計22.5時間)を受講しました。授業内容は、IELTS の4技能テストの内容の深掘り、毎週金曜日に行われる模擬試験でした。IELTS 受験経験がありテスト傾向はわかっていたものの、いざ細かい解説や先生の話すべて英語で聞くと、十分には理解できないという困難に直面しました。この問題を解決するために、わからない点はすぐに質問し、必ずその内容を理解したうえで授業を終えることを意識して授業に臨みました。また初めのころは、具体的な根拠をもとに発言すべき場面で、説得力のある言葉で伝えなければならないことにも苦戦しました。そのため、日常生活でもなるべく英語だけを話す、そして相手に理解してもらえるまで伝え方・言い方を工夫することなどに努めました。さらに、同じ日に IELTS 試験を受ける予定の友人と一緒に、放課後の試験勉強にも励みました。その結果、目標としていた 6.0 を取得することができました。

私はポーツマスでの1ヶ月間にさまざまな感情に見舞われました。どの感情も今振り返ってみると自分の精神を鍛えてくれたと感じています。例えば、スペイン人の友人と会話する際、自分にとって慣れない訛りの英語をうまく聞き取れない自分に対して悔しい気持ちを抱きました。しかし、どうしても話さなければならない状況に置かれていたために、ゆっくり話してもらい、わかるまで聞き返すことを恥ずかしがらないなど、あきらめずに彼らと接しました。そうしていくうちに次第に聞き取れるようになったのはもちろん、わからなくても落ち込まず、臆することなくわからないと主張していい、と強く思えるようになりました。また、全員が意思疎通できる言語が英語しかない、そして全員が英語を学びたいという共通の目的を持っている環境で英語学習ができる機会というのは本当に少ないと実感しました。このような環境だからこそ、他の学生の熱意が自分にも影響し、毎日がとても刺激的でした。そんな体験ができる環境で皆さんにもぜひ英語学習をしてみしてほしいと強く思います。



フィリピン

エンデランカレッジ

2023年度夏季プログラム参加

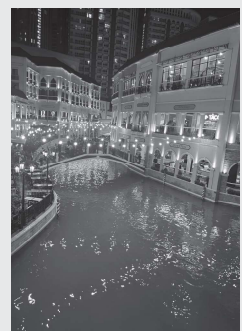
言語文化学科 I. A.

私は夏休みを利用してフィリピンのエンデランカレッジで1ヶ月を過ごしました。平日は毎日9時から15時まで授業を受け、授業のない週末は友人と出かけたりアクティビティに参加したりしました。また寮はほかの地域から来た日本の大学生や韓国の大学生なども一緒に、交流を深めることができました。寮で食事の提供はなかったため、近くのショッピングモールで友人と食事をしたり買い物をしたりしました。写真は近くのショッピングモールの写真です。

授業のほとんどはマンツーマンレッスンで、レッスンごとに決められた先生との1対1の授業なので、先生とも仲良くなれ、リラックスして授業を受けることができました。先生は日本語がわからず日本についてもあまり知らない方で、自分にとっては当たり前日本の食べ物や文化、日本独自のルールなどを一から英語で説明するのは、とても難しかったです。また連続して2時間もの間ずっと英語を使って会話していたので、最初の1週間は授業が終わるとかなり疲れを感じましたが、毎日授業を重ねるうちに次第に英語に慣れていき、研修が終わるころには、楽しみながら授業を受けることができたように思います。中学校から学習してきた英語を実際に使ってさまざまなトピックについて話し、たくさんの人と英語で親しく交流するという経験ができ、本当の意味でアウトプットができたのではないかと感じています。

また、週末のアクティビティではストリートチルドレンとの交流に参加しました。実際に彼らが家族と住んでいるストリートを訪ね、話を聞くことができました。ストリートチルドレンという言葉は聞いたことがありませんでしたが、詳しい知識は全くなく、正直なところ「かわいそうな人たち」といった他人の感想しか持っていなかったのですが、案内をしてくれた現地のボランティア団体の方から「かわいそうなのではない。彼らには彼らなりの幸せがあり、それは日本やほかの国の人たちと何も変わらない。彼らも夢を描くことができる、その夢の実現のための手伝いを私たちはすることができると」言われた言葉が、とても胸に迫りました。私も実際に子どもたちと短い時間でしたが交流しました。彼らはとても人懐っこくかわいくて、別れるときには「I will miss you.」と言ってくれるほど、愛情にあふれた子どもたちでした。そんな彼らが貧困によって夢を諦めざるを得ない状況はとても悔しいし、まずは私にできることは何なのか、もっと知り、もっと考えていきたいと感じました。

今回の留学の一番の目的は英語力向上でしたが、それ以上に、たくさんの人と仲良くなったりフィリピンの文化を学ぶことができたこと、人としても大きく成長できたと実感しています。この経験を忘れず、周りの人たちに感謝しながら、これからもさまざまなことに挑戦していきたいと思っています。



留学制度

短期留学